①企業における女性の活躍応援事業 ②女子中高生の進路選択応援事業 ③福岡国際女性シンポジウム事業 【福岡県】

地域の実情と課題

本県では、20歳代から女性の人口が男性を上回り、女性の就労や経済活動が地域経済に大きな影響を与える。経済界主導の女性登用の取組や女性ロールモデルの活躍が進む一方、中小企業では質・量両面での人材不足に直面している。女性活躍推進法の施行を受け、女性自身のエンパワーメントに加え、男性の家事・育児参加、働き方改革や意識の転換など、一層の意識改革が必要である。また、男女の専攻分野の偏りは、技術者や研究者の女性が少ない要因の一つである。このような中、女性の活躍推進の取組を加速化、重点化していく必要がある。

目的・目標

① H28年度中に、企業研修への派遣回数8回、実務専門家派遣9回を実施。
② 理工系分野へ関心を持つ参加者の割合50%以上を目指す。
③ 発信力のある国際的リーダーの招聘により、女性活躍の機運を飛躍的に高める。企業で女性がリーダーとなる機運醸成を図る。
①③共通 事業所管理職（課長相当職以上）の女性の割合を平成31年度までに16%以上とする。

事業の特徴

① 個々の中小企業の課題に応じて、女性の登用や職域拡大、働きやすい環境整備に向けた取組支援を実施した。
② 企業・研究機関の見学や女性技術者との直接の交流を通じて、参加者の理工系分野への興味・関心を喚起した。
③ 2種類のラウンドテーブル型セッションを行い、女性リーダーやロールモデル、若年層など様々な登壇者が登壇することで、男女問わず幅広い年代、国籍、立場の参加者を巻き込んだ討論を行った。

連携団体

①② 福岡県女性の活躍応援協議会実務者会議
福岡県、福岡労働局、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県経営者協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、(一社)福岡県中小企業家同友会、(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会、福岡県農業協同組合中央会、日本労働組合総連合会福岡県連合会、女性の大活躍推進福岡県会議 等
③ 福岡国際女性シンポジウム実行委員会
日本の次世代リーダー養成塾、福岡県商工会連合会、福岡県商工会議所連合会、福岡県男女共同参画推進連絡会議、福岡女子大学、九州大学、福岡県男女共同参画センター

事業の効果

① よくわかる女性活躍支援の手引きの作成・配布や企業内研修支援については、概ね高い評価を得たが、実務専門家派遣については、女性活躍に係る企業の意欲によって、支援の評価が分かれる結果となった。
② アンケートの結果、ほとんどの生徒が「見学前と比べて、理系の職場に対する興味・関心が湧いた」と回答しており、理工系の分野を選択肢の一つとして将来の進路を考える、貴重な機会を提供することができた。
③ 参加者からは「新しい視点が得られた」「自分ができることは何か考えた」などの声があり、県民の意識改革につなげた。また、県民全体で共有し今後の行動に移す「福岡からの5つの行動宣言」をまとめた。

今後の課題

① 女性活躍の取組の効果や必要性について企業への理解の一層の浸透を図るため、手引きの効果的な配布や研修、実務専門家の周知も含め、企業の状況に合わせた支援のための仕組みの検討が必要。
② 学校への周知を速やかに行うとともに、受入企業の地域的な偏りをなくす必要がある。
③ 参加者の8割以上が女性であり、内容についても改善を求める意見があった。男性、若年層、外国人など幅広い層へさらなる参加を促す工夫や、イベント内容の検討が必要である。

事業の概要

①企業における女性の活躍応援事業

ア　中小企業のためのよくわかる女性活躍支援の手引きの作成

企業が女性の活躍を進める上で必要な情報をまとめた手引書を作成。連携する経済団体を通じて会員企業へ配布したほか、イ の研修会において、テキストとして活用。

・主な内容：自社分析チェックシート、中小企業（15社）の取組事例紹介、女性活躍の取組効果の解説、県や国の事業紹介　等

・作成部数：2,700部

イ　企業内研修支援

女性の登用促進や働く環境整備など団体が実施する企業等が集まる勉強会や企業が実施する従業員向け研修会に講師を派遣。

・派遣回数：8回（1企業2回、1団体4回を上限）

・内　　容：イクボスセミナー、女性従業員向けキャリアアップ意識啓発研修
男性経営者向け女性活躍推進に向けた勉強会　等

ウ　中小企業への実務専門家派遣

中小企業に対し、企業の課題把握、解決策等の助言を行う実務専門家を派遣し、女性が働きやすい環境整備や人材確保などの取組を支援。

・派遣企業数：4社

・派遣回数：8回（1企業あたり3回を上限）

・主な相談：人材確保、長時間労働の解消、従業員の就業継続

②女子中高生の進路選択応援事業

（1）概要

・　進路選択の岐路に立つ中高生とその保護者が、事業所や研究所等における製造や検査、研究開発などの現場を見学し、女性の技術者、研究者等からの仕事の紹介・解説を受けるほか、仕事に関する質疑応答や意見交換などの交流を実施。

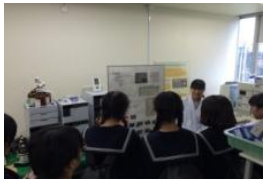
（2）対象

・　県内の高等学校、特別支援学校高等部の1年生及び保護者
（県立の中高一貫校や中学校併設型の私立高校については中学2・3年生も対象）

（3）参加者数：149名（女子101名、男子48名）

・参 加 校：のべ8校（高等学校6、中学校2）

・訪 問 先：民間企業のべ3ヶ所、大学のべ2ヶ所、福岡県機関1ヶ所



③福岡国際女性シンポジウム　　参加者数：303名

（平成28年9月17日・グランドハイアット福岡）

（1）基調講演

・ゴールドマン・サックス証券（株）副会長　キャシー松井氏
「ウーマノミクス：明日の経済を担うのは女性」

（2）ラウンドテーブル型セッション

（経済テーブルテーマ）「輝け！福岡の未来を担う女性たち」

（学生テーブルテーマ）「羽ばたけ！次代のリーダーたち」

2つのラウンドテーブルで、様々な立場の登壇者が議論

（3）総括